

令和7年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

徳島県

行事名称	神宮寺防災訓練(文化財防火デー)
実施期間・日時	令和8年1月27日(火)
実施場所	神宮寺 大師堂 徳島県美馬郡つるぎ町半田字東久保884番地
主催者	神宮寺 美馬西部消防組合消防本部 つるぎ町教育委員会

■実施内容

訓練の想定

神宮寺境内にある石油ストーブ使用中に異常燃焼し、火災が発生。初期消火にかかるも、隣接する町指定有形文化財の大師堂にも延焼するとの想定。消防車と積載車で放水することを想定。

訓練の内容

神宮寺住職が火災発見。消防署に通報。文化財(仮の文化財)の搬出、参拝者の避難誘導訓練を実施。消防署・消防団による放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

神宮寺関係者(12名) 119番通報、初期消火活動、文化財(仮)の搬出、避難誘導
美馬西部消防組合(8名) 全体総括、放水訓練
第8分団消防団(12名) 放水訓練
つるぎ町教育委員会(2名) 現場立ち会い

特に工夫した点

できるだけ多くの方に参加していただき、防災について学んでもらうため、防災訓練後も建物内の防火設備点検や、消火訓練、煙体験、ロープ結索も実施した。

問題点・課題

文化財がある施設の周辺状況を把握、定期的に確認しておき、消火活動が迅速に行えるようにしておくことが課題。また、多くの地域住民や、若い世代の方にも参加しやすいような日程等を考えて、実施出来るように計画していきたい。

その他

多くの方に参加できるように、防災意識の高揚につながる訓練内容を考え、地域住民や地元消防団との連携を深めながら、防災訓練を継続して実施することが重要。

訓練風景

